

胸腺腫のトランスクリプトームに関する観察研究

1. 研究の対象

2010年1月1日から2021年12月31日までに国立がん研究センター中央病院を受診した胸腺腫の患者様のうち、包括的同意が得られている方。

2. 研究目的・方法

本研究は、胸腺腫において特定の遺伝子変異がどのようなメカニズムでスプライシング*異常を誘導するのか、それらのスプライシング異常が病態形成に重要な役割を果たすのか、またスプライシングを薬剤で阻害することが治療手段として有効かどうかを、患者サンプルや分子生物学的研究によって検討します。

(*スプライシングとは、DNA から RNA が作られる過程で、イントロン部分を除去して成熟した RNA を作る仕組みのことを言います。)

研究実施期間：研究許可日から2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病理組織型、治療経過(各治療の種類・期間・治療効果)、遺伝子変異・染色体異常プロファイル等

試料：凍結腫瘍検体(手術)、病理標本

4. 研究組織

国立がん研究センター 研究所 がんRNA研究ユニット 独立ユニット長 吉見 昭秀(研究責任者)

国立がん研究センター 中央病院 呼吸器外科 科長 渡辺 俊一

国立がん研究センター 中央病院 病理診断科 科長 谷田部 恭

国立がん研究センター 中央病院 呼吸器外科 医員 吉田 幸弘

国立がん研究センター 中央病院 呼吸器内科 外来医長 後藤 悌

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究事務局）：
国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット 吉見 昭秀（研究責任者）
104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL: 03-3542-2511

研究責任者：
国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット 吉見 昭秀
研究代表者：
国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット 吉見 昭秀